

——表面から続く——

三、有害鳥獣防止対策の強化

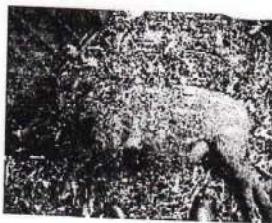
とクマの出没への市民不安解消の対策を求める。

Q. 今年の駆除期間中の捕獲数はどうか。また、捕獲個体の焼却施設の稼働状況はどうか。

A. 捕獲数はイノシシ794頭、シカ142頭、サル18頭。焼却処理数は中丹で、シカ3015頭、イノシシ2037頭で、当初計画から見れば、シカはほぼ計画数量でイノシシは計画の1.6倍でフル稼働の状況。

Q. 29年度からの鳥獣被害防止計画の策定にあたって、捕獲個体数が増えている中で、個体数調査もおこなつてさらに増加したものを作る予定なのか。

A. この間、捕獲数が増加する中で、やしていくことになる。イノシシ、シカは個体数調査はやらない(狩猟動物のため)が、サル・クマなどは調査を行う。



Q. クマの個体数調査は、実施されているのか。特に暖冬などの環境変化や隣の県(兵庫、福井)はクマも狩猟が可能となっている中でどうか。

(平成22年に1件事故が起きていたが、なぜか市には報告されていません。)

(②口上林での「喜楽鉱業」の建屋建設について、公害防止協定の検討は始

A. ツキノワグマは平成10年から狩猟禁止となっている。府としては毎年個体群で220頭とカウントされている。

Q. 市民の不安解消に向けて、どのような対応をしていくのか。目撃情報を伝えて、「危険ですよ」の警告だけでは安心できない。

A. 一つはクマを寄せつけない環境整備、二つには人家周辺に出没する場合は捕獲オリを設置して殺処分をする。三つ目には「予察捕獲」ができるよう府と協議するなどを行い不安解消をはかりたい。

Q. 29年度からの鳥獣被害防止計画の策定にあたって、捕獲個体数が増えている中で、個体数調査もおこなつてさらに増加したものを作る予定なのか。

A. この間、捕獲数が増加する中で、やしていくことになる。イノシシ、シカは個体数調査はやらない(狩猟動物のため)が、サル・クマなどは調査を行う。

概要は?

私の総括質問(全課の課長が出席して、市政全般の問題について1問1答で行う)

以上が質問の概要です。
ぜひみなさんのお聞きをお聞かせ下さい。

A. 一つはクマを寄せつけない環境整備、二つには人家周辺に出没する場合は捕獲オリを設置して殺処分をする。三つ目には「予察捕獲」ができるよう府と協議するなどを行い不安解消をはかりたい。

Q. 29年度からの鳥獣被害防止計画の策定にあたって、捕獲個体数が増えている中で、個体数調査もおこなつてさらに増加したものを作る予定なのか。

A. この間、捕獲数が増加する中で、やしていくことになる。イノシシ、シカは個体数調査はやらない(狩猟動物のため)が、サル・クマなどは調査を行う。

まっているか。また建設・稼働前の検査(アセスメントの関係)はどうなっているか。

A. 公害防止協定については現在検討中。建設や稼働前の検査についてはアセスメントの関係で、それを行う。従って資料の住民への紹介も実施される。

Q. 市民の不安解消に向けて、どのような対応をしていくのか。目撃情報を伝えて、「危険ですよ」の警告だけでは安心できない。

A. 一つはクマを寄せつけない環境整備、二つには人家周辺に出没する場合は捕獲オリを設置して殺処分をする。三つ目には「予察捕獲」ができるよう府と協議するなどを行い不安解消をはかりたい。

Q. 29年度からの鳥獣被害防止計画の策定にあたって、捕獲個体数が増えている中で、個体数調査もおこなつてさらに増加したものを作る予定なのか。

A. この間、捕獲数が増加する中で、やしていくことになる。イノシシ、シカは個体数調査はやらない(狩猟動物のため)が、サル・クマなどは調査を行う。

で使用料を定め、農集排・浄化槽は人數制の使用料となっていた。

Q. 29年度からの鳥獣被害防止計画の策定にあたって、捕獲個体数が増えている中で、個体数調査もおこなつてさらに増加したものを作る予定なのか。

A. 一つはクマを寄せつけない環境整備、二つには人家周辺に出没する場合は捕獲オリを設置して殺処分をする。三つ目には「予察捕獲」ができるよう府と協議するなどを行い不安解消をはかりたい。

Q. 29年度からの鳥獣被害防止計画の策定にあたって、捕獲個体数が増えている中で、個体数調査もおこなつてさらに増加したものを作る予定なのか。

A. この間、捕獲数が増加する中で、やしていくことになる。イノシシ、シカは個体数調査はやらない(狩猟動物のため)が、サル・クマなどは調査を行う。

まっているか。また建設・稼働前の検査(アセスメントの関係)はどうなっているか。

Q. 29年度からの鳥獣被害防止計画の策定にあたって、捕獲個体数が増えている中で、個体数調査もおこなつてさらに増加したものを作る予定なのか。

A. この間、捕獲数が増加する中で、やしていくことになる。イノシシ、シカは個体数調査はやらない(狩猟動物のため)が、サル・クマなどは調査を行う。

2月27日 本会議(提案)
3月 5日 日曜議会
6・7日 一般質問
8日 総括質問

10日 総務教育建設委員会
10日 産業厚生環境委員会
22日 本会議(採決)

13~17日 予算委員会
13~17日 総括質問

4, 5%というものの。このことに

より維持管理費に対する使用料収入の割合は若干増えることに。

今後もまだ未整備地域を残して

いることから見ても、更なる大幅な値上げも予想されるという内容。

○ 地方議員の厚生年金への加入を求める意見書が出されました。

現在議員は議員年金が廃止となり、国民年金への加入となつていい

ます。意見書ではこの国民年金への加入が議員のなり手不足や、議会への関心の低さなどを生んでいます。しかしそれが原因ではありません。市長・議員は特別職公務員ですが、議員は市長のように常勤ではありませんし、新たに議員が厚生年金に入るとなれば、新たに市からの税負担が生じることになります。市民のみなさんが不十分な年金で苦しんでおられるときに、議員の都合で制度を変えると言ふことは、到底市民の納得は得られません。従つて共産党議員はこの意見書に反対し、私が

議員団一ユースも是非お読み下さい。

議会には、多くの皆さん

が傍聴にお越し下さい。それ以外の委員会も含めて全て傍聴できます。開会時間はすべて9時半からです。



大きく揺れ動く現在の政治。こんな時だからこそ是非、新聞「赤旗」をお読みいただき、一緒に政治を変えましょう。